

とうみが 田海ヶ池 (西頸・青海町)

■環境：森林、湖沼
■対象：家族
■期間：通年

新潟県の西端、青海町にある周囲1.1km、面積36haの小さな池。三方を雑木林に囲まれ、水草の生い茂る良好な環境でトンボで県下最高の41種が確認されている。観察施設も整備されつつあり、ヤマシヨウビンの記録もある魅力的なフィールド。

<春、水面に踊る鳥たち>

田海ヶ池は、三方を雑木林に囲まれ、池の中にはヨシやコウホネが生い茂る自然豊かな池である。池には観察のための小さな展望台と南岸を通る遊歩道、その奥の観察小屋(平成8年完成予定)など野鳥観察のための環境が整備されつつある。展望台から池を眺めると、広い水面に所々島状になったヨシの群落が見え、その間を縫うようにカルガモ、カイツブリの姿が見える。岸にせり出した木々の枝はカワセミの絶好の止まり場になっており、しばしば水面を右へ左へと横切りダイビングする姿を見ることができる。ほかに魚を捕るタカであるミサゴもよく現れる。

止まり場になっており、しばしば水面を右へ左へと横切りダイビングする姿を見ることができる。ほかに魚を捕るタカであるミサゴもよく現れる。

<雑木林と水辺の鳥達>

池の南岸にある遊歩道は、人が一

人やっと通れるほど細い道で、展望台からとは違った角度で池を見ることができる。池に接した雑木林からはヤマガラ、シジウカラ、コゲラ、カケスなどが愛敬のある姿を見せてくれる。

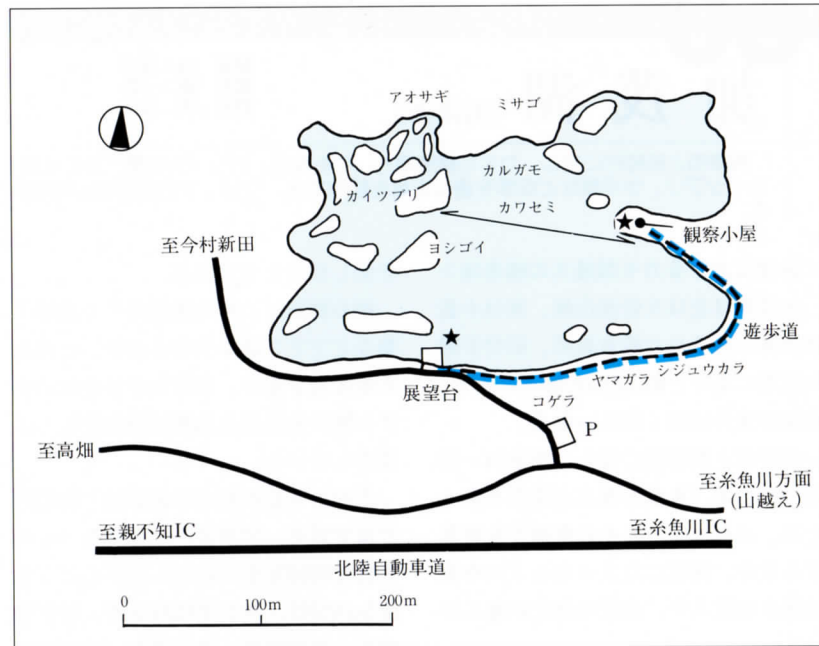
水際やヨシの群落にはアオサギ、ゴイサギ、ヨシゴイなどのサギ類が見られ、41種類ものトンボが確認され、豊かな自然の指標となっている。

<冬、待たれる鳥獣保護区指定>

この池は冬季はほとんど凍らないが、高畑の集落までしか除雪されないため、



水生植物が豊かな田海ヶ池



雪積期車でアプローチすることはできない。しかし、池にはマガモ、コガモ、ハシビロガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ホシハジロ、キンクロハジロなどのカモ類やオジロワシ、チュウヒなど猛禽も出現する。鳥獣保護区に指定されていない(平成8年度現在)ため、狩猟期間中(11月15日～2月15日まで)の観察は狩猟の有無に左右される。早いうちに鳥獣保護区の指定が望まれる。(末崎 朗)

メモ

交通 JR青海駅下車、バス停「青海駅前」か「青海駅入り口」で糸魚川行きのバスに乗車、「新田海」下車、徒歩30分。

☑ 田海ヶ池の入り口に駐車場有り。定期的探鳥会はない。

道草 青海町役場前の「きらら青海」は平成8年度完成の総合文化会館で図書館、地質博物館、ホールが一つになった見所いっぱい建物。岩石庭園もあり、地質の勉強にはうってつけ。

☎0255-62-2223

また近くの少年自然の家では「ひげ先生」こと野紫木洋先生が青海の自然情報を教えてくれる。☎0255-62-5997